第２次城陽市生涯学習推進計画

令和７年度取組状況報告書

令和８年（2026 年）10 月

城陽市教育委員会

文化・スポーツ推進課

目次

体系					担当課	ページ
基本施策　4	主施策　17	中施策　57		施策　59		
1 ライフステージに応じた学習機会の充実	(1)　子育て世代の学習					
		①　家庭の教育力の向上	1	家庭教育に関する学習機会について	文化・スポーツ推進課	1
		②　子育て支援の充実	2	子育て世代の支援体制について	子育て支援課	1
		③　幼児教育センター機能の充実	3	幼児教育センターについて	学校教育課	2
		④　地域活動の充実	4	地域活動の支援について	文化・スポーツ推進課	2
	(2)　子どもの学習					
		①　学習機会の充実、体験活動の推進	5	国際理解・情報・体験学習について	学校教育課	2
			6	文化パルク城陽における子ども向け事業について	文化・スポーツ推進課	3
		②　学校・家庭・地域との連携	7	放課後子ども教室推進事業について	文化・スポーツ推進課	3
	(3)　青少年、若者の学習					
		①　学習活動の充実、社会参加の促進	8	自然とのふれあい登山について	文化・スポーツ推進課	4
		②　団体活動の振興	9	スポーツ少年団について	文化・スポーツ推進課	4
		③　青少年健全育成活動の推進	10	青少年健全育成活動について	文化・スポーツ推進課	4
	(4)勤労世代の学習					
		①　学習活動の支援	11	勤労世代の学習支援について	商工観光課	5
		②　関係機関との連携	12	関係機関との連携について	商工観光課	5
	(5)シニア世代、高齢者の学習					
		①　学習機会の充実	13	老人福祉センター、高齢者クラブへの支援について	高齢介護課	5
		②　社会参加の促進	14	シルバー人材センターへの支援について	高齢介護課	6
2 現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実	(1)現代的課題に対応した学習の推進					
		①　国際化社会に対応する学習の推進	15	国際交流事業について	秘書広報課	7
		②　情報化社会に対応する学習の推進	16	情報提供について	文化・スポーツ推進課	7
		③　自然・環境学習の推進	17	環境学習や啓発活動について	環境課	8
			18	緑化推進について	都市政策課	8
		④　健康学習の推進	19	健康学習について	健康推進課	8
		⑤　食に関する学習の推進	20	食に関する学習について	こども家庭センター	9
		⑥　消費生活に関する学習の推進	21	消費生活について	商工観光課	9
		⑦　地域防災・安全に関する学習の推進	22	地域防災・安全について	危機・防災対策課	9
	(2)　人権や平和、男女共同参画の推進					
		①　基本的人権の尊重	23	人権教育・啓発について	市民活動支援課	10
		②　平和学習の推進	24	平和に関する啓発活動や学習活動について	秘書広報課	10
		③　男女共同参画の推進	25	男女共同参画について	市民活動支援課	11
		④　情報化社会に対応する人権の推進	26	情報化社会に対応する人権について	文化・スポーツ推進課	11
	(3)　福祉学習の推進					
		①　地域福祉の意識向上	27	地域福祉について	福祉課	12
		②　障がいのある人の学習機会の充実	28	障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について	文化・スポーツ推進課	12
		③　障がいに関する理解の促進	29	障がいに関する理解の促進について	障がい支援課	13
	(4)　文化芸術活動の振興、文化財や歴史の保存継承の推進					
		①　文化芸術活動への支援	30	文化芸術活動の振興について	文化・スポーツ推進課	13
		②　文化財保護意識の普及・啓発	31	文化財保護意識の普及・啓発について	文化・スポーツ推進課	13
		③　歴史民俗資料館の充実	32	歴史民俗資料館について	歴史民俗資料館	14
	(5)　スポーツ・レクリエーション活動の振興					
		①　活動機会の充実	33	スポーツ・レクリエーション活動機会の充実について	文化・スポーツ推進課	15
		②　関係団体との連携と支援	34	関係団体との連携について	文化・スポーツ推進課	15
		③　指導者の育成	35	指導者の育成・確保について	文化・スポーツ推進課	16
		④　総合型スポーツクラブの支援	36	総合型地域スポーツクラブについて	文化・スポーツ推進課	16
	(6)読書活動の推進					
		①　図書館事業の充実	37	図書館について	図書館	16
		②　コミセン図書事業の充実	38	コミセン図書事業について	市民活動支援課	17
		③　図書システムの充実	39	図書システムについて	図書館	17
		④　子どもの読書活動の推進	40	子どもの読書活動について	学校教育課、図書館	18
		⑤　高齢者・障がい者の読書環境の充実	41	大活字本や録音図書の充実	図書館	18

3 学習成果を 活かした 地域づくりの推進	(1) 学びの場を核とした地域コミュニティの形成の推進					
		① コミュニティ事業の推進	42	コミュニティ事業について	市民活動支援課	19
		② コミュニティ組織の育成・支援	43	コミュニティ組織の育成・支援について	市民活動支援課	19
		③ コミュニティリーダーの育成・確保	44	コミュニティリーダーについて	文化・スポーツ推進課	19
	(2) ボランティア活動の推進					
		① ボランティア活動の推奨	45	ボランティア活動について	図書館、歴史民俗資料館、高齢介護課、環境課、商工観光課	20
		② 学習機会の充実	46	ボランティアの学習機会について	市民活動支援課	21
		③ ボランティア活動への支援	47	市民活動支援センターについて	市民活動支援課	22
	(3) 学習成果の活用					
		① 社会全体で子どもたちを育む取組みの推進	48	学校と地域の連携・協働について	文化・スポーツ推進課	22
		② 活動の場の充実	49	生涯学習の成果を表現する場について	文化・スポーツ推進課	22
		③ 人材活用の仕組みづくり	50	人材活用について	文化・スポーツ推進課	23
4 学習環境の整備	(1) 生涯学習施設の整備・充実					
		① 生涯学習施設の整備・充実	51	生涯学習施設の整備・充実について	文化・スポーツ推進課	24
		② スポーツ施設の整備・充実	52	スポーツ施設の整備・充実について	文化・スポーツ推進課	24
		③ 学校施設の活用	53	学校施設の活用について	学校教育課	24
	(2) 関係機関との連携推進					
		① 生涯学習ネットワークの展開	54	生涯学習ネットワークについて	文化・スポーツ推進課	25
		② 民間団体等との連携	55	民間団体等との連携について	文化・スポーツ推進課	25
		③ 学校教育と社会教育の連携・融合	56	学校と地域が一体になった学習活動について	学校教育課	25
	(3) 情報提供の推進					
		① 情報紙の充実	57	生涯学習情報紙について	文化・スポーツ推進課	26
		② ホームページの充実	58	ホームページについて	文化・スポーツ推進課	26
		③ 情報提供システムの構築	59	情報提供システムについて	文化・スポーツ推進課	26

１　ライフステージに応じた学習機会の充実

（１）子育て世代の学習

①　家庭の教育力の向上

家庭の教育力を向上するため、城陽市民大学など家庭教育に関する学習機会の充実を図ります。

また、子育てにおいて、家庭での学習が重要であることから、読み聞かせの書籍、教材の充実など、図書館と連携し推進します。

【施策番号１】家庭教育に関する学習機会について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●城陽市民大学　文学・教育コースを開催した。（3回　延べ 359 人参加） 「やるやん！関西弁～こんな所でも使てもろてます～」 「琉華　沖縄民謡・沖縄ポップスライブ」 「みんなでつくる合作俳句の人生哲学」
今後の課題方向性	家庭教育講座の流れを汲む講座であるため、令和７年度も企画推進委員会を通じて PTA にも参加を呼び掛けた。どの年代にも関心のある内容で、コースの学生以外もたくさん参加していただいた。引き続き自己や家族・地域を見つめ直すことのできるテーマ設定を考えていきたい。

②　子育て支援の充実

城陽市子ども・子育て支援事業計画に基づき、豊かなコミュニケーションが図れる子育て環境を整備し、子育て世代の育児不安解消のため、地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」などにおける相談業務や情報提供の充実に努めます。

また、子育て世代のリフレッシュにつながる講座づくり等に努めます。

教育・保健・福祉分野など事業実施団体は情報を共有し、事業にいかし、多様な学習機会の提供に努めます。

【施策番号２】子育て世代の支援体制について	
	子育て支援課
取組状況	●子育て相談に対応した。（1,350 件） ●あそびのひろば（55 回　延べ 1,476 人参加）、文パル訪問（1 回　延べ 34 人参加）を実施した。 ●子育て支援講座を実施した。（17 回　延べ人 760 人参加） ●地域・多世代交流事業を実施した。（81 回　延べ 2,002 人参加） ●民生児童委員協議会や市民活動団体と連携し、子育て支援事業を行った。また、健康推進課と連携し子育てに不安を抱える養育者の支援に努めた。
今後の課題方向性	登録団体の事業への参加の促進、子育て支援講座等の推進を図る。

③　幼児教育センター機能の充実

公私立幼稚園の連携を深め、家庭や地域との関わりを強化して、地域の幼児教育センターとして相談機能の充実に努めます。

【施策番号３】幼児教育センターについて	
	学校教育課
取組状況	●園の１室を開放し、未就園児とその保護者を対象に安心して、子育てができる身近な拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育て交流を行った。
今後の課題方向性	園の１室を開放し、未就園児とその保護者を対象に安心して、子育てができる身近な拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育て交流を行う。

④　地域活動の充実

子ども会後援会協議会などへの地域活動補助事業を通じて、地域における組織を育成するとともに、地域活動の支援を充実します。

【施策番号４】地域活動の支援について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●城陽市子ども会後援会協議会のスポーツまつりといった各種事業運営に関わる相談、助言。また施設予約、広報紙発行といった活動の支援を行った。
今後の課題方向性	社会情勢の変化や児童数の減少もあり、城陽市子ども会後援会協議会に所属する支部が減る中、今後の組織運営や事業計画に対して、相談や指導を積極的に行う。

（２）　子どもの学習

①　学習機会の充実、体験活動の推進

国際化に対応した国際理解教育、自然と人間の調和をめざす環境教育、高度情報化に対応した情報教育を推進します。

また子どもの健康と、豊かな心をはぐくむため、自然を活用した体験講座や伝統文化を取り入れた生活体験講座など放課後子ども教室、土曜日子ども教室や文化パルク城陽におけるプレイルーム事業、プラネタリウム投映事業、天体観測、コミュニティセンターにおける子ども向け事業、図書館における読み聞かせ事業、自然とのふれあい登山事業、あそびのはくぶつ館の開催など、各種の体験学習機会を充実します。

【施策番号５】国際理解・情報・体験学習について	
	学校教育課
取組状況	●英語指導助手 10 名を各小中学校に巡回配置し、外国語教育・国際理解教育に取り組んだ。また、英語指導助手の指導能力の向上等のため、ＪＥＴプログラムコーディネーターを配置した。 ●各小中学校のコンピュータ教室の維持管理を行い、児童生徒一人１台タ

	ブレットを更新し、調べ学習やまとめ学習、発表など様々な状況において活動を図り、その情報操作について技術を高めるとともに、情報の取り扱いなど情報活用の基本的な能力について育成に努めた。学習用プリンタを導入し、ICT 教育環境の整備に努めた。また、導入した ICT 機器等の効率的な活用を推進するため、ICT 支援員を配置した。 ●新学習指導要領に基づき、「生きる力」の育成を目指し、各学校で農作業体験等について、特色ある教育課程を編成し、総合的な学習の時間を中心に取り組んだ。
今後の課題 方向性	英語指導助手の人材確保 英語指導助手の指導能力の向上 児童生徒一人一台タブレットの活用 新学習指導要領に基づいた「生きる力」の育成
【施策番号６】文化パルク城陽における子ども向け事業について	
文化・スポーツ推進課	
取組状況	●プレイルーム事業を実施した。 ・親子あそび（９回）参加人数 430 名 ・ひなたぼっこ連携事業（１回）参加人数 35 名 ・大学生による工作教室（５回）参加人数 174 名 ・幼児交通安全教室（２回）参加人数 29 名 ●プラネタリウム活性化事業を実施した。 ・土日祝日および学校長期休業期間 １日３回定時投映 ・平日は団体予約により投映　観覧者数 20,341 名 ・０歳からのプラネタリウム（３回）参加人数 407 名
今後の課題 方向性	プレイルームにおいては、カプセル販売の粘土に変わる遊びの提供が課題となっている。開館 30 周年記念に創造した財団キャラクター「パルクさん」を活用した遊びの提供を検討し、引き続き安全に配慮したうえで利用者増に繋げたい。

② 学校・家庭・地域との連携

子どもの安全・安心な学習支援の場の確保として、放課後子ども教室や、学校支援地域本部事業、学校、家庭、地域が連携した学校・地域連携推進事業などの一層の充実を図ります。

実施において地域の自然や歴史、産業、福祉などの様々な分野で、地域の人々の持つ技能・知識・経験をいかした学習を推進します。

子どもと地域とのふれあいや世代間交流の場づくりに努めます。

【施策番号７】放課後子ども教室推進事業について	
文化・スポーツ推進課	
取組状況	●放課後子ども教室、土曜日子ども教室の運営面での各種サポートを行った。 ●市内における放課後子ども教室未実施小学校での新規開設に向け、学校、

	学校運営協議会、各団体と連携を強めた。
今後の課題 方向性	引き続き、放課後子ども教室（古川小、富野小、青谷小、久津川小、寺田小、寺田南小）、土曜日子ども教室（久世小）の運営サポートを行う。残りの３校区でも開設できるよう、学校、学校運営協議会、各地域の社会教育団体と連携を強める。

（３） 青少年、若者の学習

① 学習活動の充実、社会参加の促進

青少年や若者の社会性や自主性をはぐくむため、各種団体や地域活動、市の行事や委員会などへの参画を促進し、新たな参加できる場の拡大に努めます。

【施策番号８】自然とのふれあい登山について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●自然とのふれあい登山を実施した。（年間 11 回中７回実施、延べ 186 名参加） ※天候不良等による中止が４回
今後の課題 方向性	下見を丁寧に行い、児童、補助員、ボランティアの安全を第一に考えて年間 11 回の事業を実施すると共に、新たなボランティアを発掘する。

② 団体活動の振興

地域の青少年育成団体と協働して、地域活動、ボランティア活動などを促進し、豊かな心やボランティア精神の醸成を図るとともに、青少年育成団体や子ども会後援会、スポーツ少年団など地域における組織の育成を図ります。

【施策番号９】スポーツ少年団について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	事務局がスポーツ協会に移管されたことから令和 7 年度以降、単独の補助金交付はない。令和 7 年度は事務局の事務引継ぎを行った。

③ 青少年健全育成活動の推進

青少年健全育成市民会議の各種の活動を支援するとともに、関係機関との連携を深め、青少年の社会参加への支援を進めます。青少年健全育成活動を行うために、青少年の健全育成に対する理解を深めるため、講演会の開催など学習活動の充実に努めます。

【施策番号 10】青少年健全育成活動について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●家庭と地域を考えるつどい（7/12　参加者：90 名） 講演「生きづらさを抱える子どもたちへ～社会福祉法人みねやま福祉会～」社会福祉法人みねやま福祉会　理事長　櫛田　啓氏 ●あそびのはくぶつ館開催支援（11/16　参加者：約 1200 名） ●「青少年の意見」発表会の開催（10/25　参加者：230 名） ●オータムコンサート開催支援（11/1　参加者：約 2000 名）

	●広報やまびこを発行支援（10月,3月の年間2回）
今後の課題 方向性	社会環境の急激な変化を敏感に捉え、青少年健全育成事業及び各種啓発活動を実施する。

（4） 勤労世代の学習

① 学習活動の支援

生涯学習に対する関心を高めるとともに、学習活動を促すため、学習情報の提供や学習内容などを充実します。また学びやすい学習環境を模索し提供に努めます。

【施策番号 11】勤労世代の学習支援について	
	商工観光課
取組状況	●働く女性の家における各種講座・講演会を開催した。 ・パソコン教室 （27 回） ・技術習得講座（8回） ・再就職準備講座（8回） ・資格取得講座（8回） ・就労支援講座（6回） ・起業講座（10 回） ・セミナー（6回） ・講演会（1回） ・出張ハローワーク（6回）
今後の課題 方向性	引き続き、各種講座の開催を通じて働く女性等への支援を行う。

② 関係機関との連携

城南地域職業訓練センターやカルチャーセンター、スポーツクラブなどと情報提供や講師の派遣などにおいて連携・協力し、職業能力向上の機会を充実します。

【施策番号 12】関係機関との連携について	
	商工観光課
取組状況	●城南地域職業訓練センターからの各種講座案内を広報じょうように掲載し、情報提供を行った。
今後の課題 方向性	引き続き、城南地域職業訓練センターにて実施する各種講座案内を広報じょうように掲載し、情報提供を行う。

（5） シニア世代、高齢者の学習

① 学習機会の充実

シニア世代、高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、仲間づくりや世代間交流、文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会を充実します。

【施策番号 13】老人福祉センター、高齢者クラブへの支援について
高齢介護課

取組状況	●老人福祉センター事業を実施した。（４施設） 老人福祉センター４施設で医療・健康・生活に関わる講習会や、防災訓練、介護予防や各種教養の教室を行い高齢者の知識と教養の向上を図った。 ※施設内浴場の維持管理費に充てるため、入浴料（１日 100 円）を徴収している。 ※令和２年３月から、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、施設内浴場の利用を中止している。 ●高齢者クラブへ補助金を交付した。 高齢者の生きがいづくりと健康づくり等に役立ち、高齢者が要介護状態とならないための介護予防の役割を担っていることから、活動費の一部を助成し、活動の支援を行った。
今後の課題 方向性	今後も高齢化率の上昇が見込まれていることから、高齢者の生きがいづくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。

② 社会参加の促進

シニア世代、高齢者の社会参加を促進するため、老人福祉センターや高齢者クラブ、シルバー人材センターにおける活動を支援します。

【施策番号 14】シルバー人材センターへの支援について	
	高齢介護課
取組状況	●シルバー人材センターに対し運営費等経費の一部を補助し、高齢者の労働能力の活用と生きがいを助長して、高齢者の福祉の増進を図った。
今後の課題 方向性	今後も高齢化率の上昇が見込まれていることから、高齢者の生きがいづくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。

２　現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実

（１）　現代的課題に対応した学習の推進

①　国際化社会に対応する学習の推進

語学講座をはじめとした国際交流事業を通して国際理解の環境づくりと学習機会を提供するとともに、市内に在住する外国人が、市民として安心して暮らせるよう、日本語習得への支援などを推進します。

【施策番号 15】国際交流事業について	
	秘書広報課
取組状況	●語学講座を開催した。 城陽市国際交流協会にて韓国語（９講座）、英会話（９講座）、中国語（２講座）の語学講座、韓国語クラブ（13 講座）、Summer Kids English（２講座）を開催した。 ●子ども英会話教室を開催した。 城陽市国際交流協会において、子ども英会話事業を実施した。 ●日本語教室を開催した。 城陽市国際交流協会にて外国籍住民の人々に継続的な日本語教室の機会を提供した。 国際交流事業を通じて、異文化への理解や国際交流の推進を図ることができた。
今後の課題方向性	異文化への理解や国際交流の推進を図るため、事業を継続して実施していく。

②　情報化社会に対応する学習の推進

情報化社会の進展に対応して、市民が情報を上手に活用することができるよう、有害情報対策を含め情報提供に努めます。

【施策番号 16】情報提供について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●生涯学習情報の市 HP、市教委 HP への掲載を行った。 広報じょうよう特集号まなび Eye、市民大学、二十歳の集い、サンガ情報等
今後の課題方向性	引き続き、市民が情報を活用することが出来るよう、情報提供に努めていく。

③　自然・環境学習の推進

城陽市に存在する豊かな自然環境の保全や地域の緑化を推進するため、学習活動や啓発活動を充実します。

また、家庭でできる環境負荷低減策など、身近な環境問題に対する情報提供や学習活動を充実します。

【施策番号 17】環境学習や啓発活動について	
	環境課
取組状況	・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の取組として、環境出前講座を実施した。（市内９保育園） ・城陽環境パートナーシップ会議と共催した環境フォーラムにおいて、「知ろう、学ぼう、伝えよう　身の回りのマイクロプラスチック」をテーマに講演会等を行った。（参加者約 400 名） ・グリーンカーテンの啓発として、市内公共施設（市内小学校・保育園・コミセン等）にゴーヤの苗を配布した。（23 施設） ・自然観察会を実施した。（２回・計 58 名） ・どんぐりやまプロジェクトとして環境学習を実施した。（寺田小学校２年生、３年生、深谷小学校環境委員会） ・総会終了後、ミニフォーラムを開催した。（参加者 33 名） ・3R 推進事業として施設見学を実施した。（参加者８名）
今後の課題方向性	より多くの市民の方に参加してもらえるための工夫が必要であり、新しい啓発方法を模索しつつ引き続き啓発に努める。
【施策番号 18】緑化推進について	
	都市政策課
取組状況	●城陽市緑化フェスティバルを開催した。（来場者 900 人） ●グリーンカーテン用のゴーヤ苗を配付した。（328 世帯） ●「花いっぱい運動支援事業」を実施し、緑化の推進を図った。（32 団体）

④　健康学習の推進

健康で豊かな生活を送ることができるよう、健康教室、健康相談などの開催、健康意識の高揚や健康管理に必要な情報提供などを充実します。

【施策番号 19】健康学習について	
	健康推進課
取組状況	●健康・食生活相談を実施した。（12 回　延べ 59 人参加） ●健康相談を実施した。（延べ 358 人参加） ●ＪＯＹＯヘルスアップ講座を実施した。（６回　延べ 104 人参加） ●認知症予防教室を開催した。（８回　延べ 146 人参加） ●重症化予防等の訪問指導を実施した。（延べ 194 人）
今後の課題方向性	健康学習を対象者や目的に合わせて効果的･効率的に実施していく必要がある。

⑤　食に関する学習の推進

市民が食に関する知識を習得し、健全な食生活を実践することができるよう、食生活改善推進員（ヘルスメイト城陽）との連携などを通して食についての学習機会の充実を図り

ます。

【施策番号 20】食に関する学習について	
	こども家庭センター
取組状況	●１歳８か月児健康診査における手作りおやつの試食提供を実施し、手作りおやつやおやつに関する展示、説明を行った。（24 回　401 組） ●３歳児健康診査における野菜の試食提供を実施せず、簡単に作れる野菜料理や３歳児の１日の食事量に関する展示、説明を行った。（24 回　425 組） ●ママパパ教室では、食生活に関する情報提供を行った。（４回　10 人） ●健康づくり計画推進として、手作りおやつの試食提供と説明を行った。（２回　16 組）
今後の課題方向性	子どもの保護者等に対して、食の大切さについてわかりやすい内容の情報提供を行う。

⑥　消費生活に関する学習の推進

商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るため、消費生活に関する学習や情報提供を充実します。

【施策番号 21】消費生活について	
	商工観光課
取組状況	●各種講座を実施した。 出前講座、くらしに生かす消費生活通信講座での講座等を実施した。 ●各種情報提供を実施した。 広報じょうようへのくらしの 110 番の掲載、啓発冊子等の配付、消費生活だより（広報じょうよう特集号）を年１回発行。
今後の課題方向性	引き続き若年層への啓発を強化する。高齢者には引き続き情報提供等を行う。

⑦　地域防災・安全に関する学習の推進

災害の歴史、防災について認識を深める学習の提供や、被災時における対応などについての学習を推進します。

【施策番号 22】地域防災・安全について	
	危機・防災対策課
取組状況	●防災啓発冊子の配布 出前講座等で活用した他、随時希望者に防災啓発冊子の配布を行い、災害発生時の迅速な避難行動を促し、防災意識の高揚を図った。
今後の課題方向性	防災啓発冊子の危機・防災対策課等における配布を引き続き実施する。また、全戸配布した防災啓発冊子をテキストとした出前講座等により、防災意識の更なる高揚を図る。

（２） 人権や平和、男女共同参画の推進

① 基本的人権の尊重

第３次城陽市人権教育・啓発推進計画に基づき、市民が、それぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法を取り入れることなどにより、生涯のあらゆる機会を通じて人権について学ぶことができるよう取組を推進します。

特に、地域の実情に応じた情報提供や学習機会の提供の充実を図るとともに、市民ニーズにあったテーマ設定による人権教育・啓発を推進します。

【施策番号 23】人権教育・啓発について	
	市民活動支援課
取組状況	●山城人権ネットワーク推進協議会に参画した。 ●人権啓発新聞を年２回発行した。 ●「人権の花」運動を実施した。 ●６月に街頭啓発活動を実施した。 ●各種人権関係研修会等への参加による職員の意識啓発を行った。 ●企業人権研修会を実施した。（参加者数：12 人） ●職員人権研修会を開催（人事課との共催）した。（参加者数：49 人） ●第３次城陽市人権教育・啓発推進計画を策定した。 ●パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始した。
今後の課題方向性	憲法に保障された基本的人権が尊重される社会の確立が課題であるため、山城人権ネットワーク推進協議会への参画や、各種啓発事業及び人権研修会等を通じ、今後も継続して人権啓発を推進していく。

② 平和学習の推進

戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを後世に伝えるため、平和都市宣言の趣旨に基づき、平和に関する啓発活動や学習活動を推進します。

【施策番号 24】平和に関する啓発活動や学習活動について	
	秘書広報課
取組状況	●平和のための小中学生広島派遣事業の実施 令和７年７月 31 日から８月１日の１泊２日で市内に住む小学６年生～中学３年生を対象とした「平和のための小中学生広島派遣事業」を実施した。 ●永遠の希い配布事業の実施 戦争体験記「永遠の希い」を市内中学校卒業生を対象に配布した。 ●平和のつどい事業の実施 令和７年７月 12 日（土）に文化パルク城陽市民プラザにおいて、「城陽市平和のつどい」と題し、原爆、戦争に関するﾊﾟﾈﾙ展示やDVD 放映、語り部の講話等を行った。

	●平和祈念の黙祷 原爆死没者や戦没者への慰霊、平和祈念のための黙祷を実施、また、市民への周知のため広報じょうようへの掲載やサイレンの吹鳴を実施した。 戦争を経験した世代が少なくなる中、事業を通じて、戦争の悲惨さや命の尊さを伝えることができた。
今後の課題 方向性	事業を通じて、戦争の悲惨さや命の尊さを伝えるため、事業を継続して実施していく。

③　男女共同参画の推進

第３次城陽市男女共同参画計画（さんさんプラン）に基づき、男女共同参画の推進に努めるとともに、城陽市男女共同参画支援センター（ぱれっと JOYO）を拠点として、市民や市民活動団体と協働し、男女共同参画に関する啓発活動や情報提供、学習機会などを充実します。

【施策番号 25】男女共同参画について	
	市民活動支援課
取組状況	●中学生冊子を発行した。 ●各種啓発講座を開催した。（69 講座） ●広報特集号「はんなりと城陽」を年２回発行した。 ●図書の貸し出し（60 冊）、新聞の配架、インターネットの閲覧（11 件）を行った。 ●男女共同参画推進登録団体とともにつくる事業を開催した。（8 団体）
今後の課題 方向性	男女共同参画社会実現に向けた様々な取り組みを実施し、市民への啓発を推進する。

④　情報化社会に対応する人権の推進

インターネットにより社会は多様化・複雑化しており、情報化社会上のいじめなど人権問題について理解と認識を深め、啓発の研修会等を実施します。

【施策番号 26】情報化社会に対応する人権について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●城陽市民大学（人間コース）を実施した。（3回　延べ 347 人参加） 「「思いやり」を科学する」 「ジブリで考える人権のはなし―明るく楽しい人権学習のすすめ―」 「しあわせに生きる―哲学的幸福論への誘い―」
今後の課題 方向性	情報化社会に対応する人権の推進を図るための事業となるよう努めるとともに、「人権」という言葉にとらわれず、幅広く生き方について考えてもらえ、積極的に参加してもらえるようテーマ設定を行う。

（３） 福祉学習の推進

① 地域福祉の意識向上

城陽市地域福祉計画に基づき障がいや高齢等により、支援や介護が必要な状態であっても、自分に応じた方法で生涯を通じて自己実現を果たせるよう、さまざまな関係機関との連携を深めて、多彩な学習機会の提供について検討します。

【施策番号 27】地域福祉について	
	福祉課
取組状況	●城陽市社会福祉協議会において、指定 15 校に子どもの頃からの福祉教育の取組に対して一部を助成した。また、小中学校の担当教員、ボランティア団体、障がい者団体等の集う交流会では、インクルーシブ教育について学び、福祉教育の推進方法や具体的な取り組みについて情報共有・交換を実施した。
今後の課題方向性	●城陽市社会福祉協議会において、６月に小中学校の担当教師、ボランティア、当事者団体と福祉に関する情報交換会、研修会を参集型で実施する。申請のあった市内全小中学校に、福祉教育実践での体験学習、講演会などを各学校の目的に合った形で実施するための助成金を交付する。

② 障がいのある人の学習機会の充実

城陽市民大学などの学習機会を充実するとともに、障がいのある人の学習活動を保障するため、要約筆記や手話などの支援策を充実します。

また、障がいのある人が身近でより多様な文化・スポーツを楽しむことができるよう、文化・スポーツ活動の参加機会の充実に努めます。

【施策番号 28】障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●城陽市民大学　ライフコースを開催し、手話通訳者の派遣を行った。（３回実施　延べ 256 人（内障がいのある方 延べ 16 人）参加） 「ジェンダーとメディア～誰もが生きやすい地域社会や生活を考えるために～」 「ウェルビーイングな住まい方・・・幸せに暮らせる住居とは？」 「避難所で災害関連死を防ぐキーワード？ イタリアから学ぶTKB48とは？」 ※市民大学全体（６コース各３回、開講式、閉講式、特設講座２回）では、障がいのある方 延べ 42 人参加
今後の課題方向性	障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図るための事業となるよう努める。 また、引き続き、各協会を通じてチラシを配布し事業の周知を行うとともに、参加しやすい講座づくりに努めていく。
【施策番号 28】障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について	

	文化・スポーツ推進課
取組状況	●ボッチャ大会を実施した。
今後の課題 方向性	引き続き、城陽市ボッチャ協会にご協力いただき、ボッチャ大会を実施する。

③　障がいに関する理解の促進

市民一人一人が障がいに関する正しい知識と認識を深め、障がいのある人との相互理解を促進し、障がいの有無に関わらず共に助け合い、学び合う学習活動を推進します。

【施策番号 29】障がいに関する理解の促進について	
	障がい支援課
取組状況	●市民講座及び福祉見学会の開催　計４回（Youtube 配信１回延べ 366 回の再生　対面３回延べ 301 人参加） ●市民一人一人が障がいに関する正しい知識と認識を深め、障がいのある人との相互理解を促進し、障がいの有無に関わらず共に助け合い、学び合う学習活動を推進した。
今後の課題 方向性	障がいに関する理解の促進を図るための事業を行う。 市民講座の開催（３回） 福祉見学会の開催（１回）

（４）　文化芸術活動の振興、文化財や歴史の保存継承の推進

①　文化芸術活動への支援

市民および文化団体などとの協働により、さらなる文化芸術活動を推進するため文化芸術協会への補助を通じ団体活動の支援を行います。

【施策番号 30】文化芸術活動の振興について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●文化芸術推進会議の開催（２回） ●第２次文化芸術振興計画の進行管理 ●次期文化芸術振興計画の策定準備 ●文化芸術賞等表彰 ●文化芸術表彰チラシの作成 ●文化協会への補助金交付
今後の課題 方向性	各取り組みを継続して実施し、本市の文化芸術活動の推進に努める。

②　文化財保護意識の普及・啓発

市民の文化財保護意識を向上し郷土愛をはぐくむため、文化財の普及・啓発に努めるとともに、地域の歴史や伝統文化、行事の保存・継承に努めます。

【施策番号 31】文化財保護意識の普及・啓発について

	文化・スポーツ推進課
取組状況	●コンテナ 19 ケースの出土遺物の整理・資料化を行った。 ●史跡整備に向けた久津川車塚古墳の発掘調査（調査面積 113 ㎡）を実施した。 ●史跡地等 10 ヶ所について、適切な保存・活用を行うための管理に努めた。 ●史跡久世廃寺跡の維持管理、天満宮社本殿の自動火災報知器点検、水主神社本殿の自動火災報知器点検、水主神社本殿保存に伴う樹木剪定、阿弥陀寺本堂の自動火災報知器点検、水度神社境内の樹木伐採・剪定、荒見神社境内の樹木剪定、市辺天満神社境内の樹木伐採、念佛寺の防犯カメラ設置に補助金を交付した。 ●地域資源を歩いて巡るツアーイベントを 1 回、講演会を2回、シンポジウムを1回、シンポジウム開催に伴う展示及び VR 体験会を各1回開催した。
今後の課題方向性	各取組について継続して実施し、文化財を適切に保存していくとともに、エコミュージアム事業による活用についても新たなイベント展開を図ることにより積極的に取り組み、文化財保護意識の普及・啓発に努める。

③ 歴史民俗資料館の充実

ふるさとの文化遺産を次代に伝承していくため、歴史民俗資料館の展示の充実を図るとともに、歴史民俗資料、古文書、民具などの調査研究を推進します。

また、市民と学校教育や観光などと連携し、市の資源をいかして市内外へ城陽市の魅力を広め活性化させる取組みである「エコミュージアム」の拠点として歴史民俗資料館を活用していきます。

【施策番号 32】歴史民俗資料館について	
	歴史民俗資料館
取組状況	●貸館業務を実施した。（ツアー1回、個展1回） ●古文書・民俗文化財調査を実施した。（16 回） ●おかげ踊りを広める会に関する業務を実施した。（講習会 11 回、神社への奉納2回、民俗芸能大会1回） ●展示業務を実施した。（観覧者数　延べ 8,165 人、普及活動等を加えた利用者数　延べ 10,800 人） ・JOYO エコミュージアム・春の資料紹介「古墳へ行こう！2025＋発掘調査速報展」（観覧者数 914 人） ・JOYO エコミュージアム・夏季特別展「鉄道の旅と食」（観覧者数 2,516 人） ・JOYO エコミュージアム・秋季特別展「幕末・明治の錦絵」（観覧者数 1,500 人） ・JOYO エコミュージアム・冬季企画展「ちょっと昔の暮らしと風景～

	電波が運ぶ昭和の時代～」（観覧者数 1,379 人） ・アートギャラリー2025（共催：観覧者数 715 人） ・老人福祉センター４苑と東部コミュニティセンターで写真パネル展を開催した。 ●普及業務を実施した。（51 回、参加者数　延べ 919 人） 勾玉作り・考古学（銅釧作りなど）・体験（水引細工など）といった各種教室、出前授業などを実施。 ●学校による観覧授業を実施した。（古墳・昔の暮らしなど 18 回、延べ 899 人） ●プロジェクターを使って円形スクリーンに映像や動画を投影し、展示内容の充実に努めた。具体的には、令和６年度秋季特別展で放映した正道官衙遺跡の３D 復元映像や久津川車塚古墳の発掘調査の３D 映像、常設展示資料の３D 映像を投映している。
今後の課題方向性	今後も興味・感心の高いテーマや市民ニーズに応じた展示会を開催し、古文書や民俗民具などの調査研究を進めるとともに、学校教育と連携して利用促進を図る。また、エコミュージアムのコア施設としての機能の充実を図るとともに、館外での展示会の開催やホームページや SNS などを活用した広報・普及活動の充実も図る。

（５）　スポーツ・レクリエーション活動の振興

① 関係団体との連携と支援

多くの市民が健康で生きがいを持って暮らせる社会づくりに向け、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、市民ニーズに沿ったプログラムの提供に努めるとともに、スポーツ活動を通じた体力づくり、地域づくりの機会や場の充実に努めます。

【施策番号 33】スポーツ・レクリエーション活動機会の充実について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●各種スポーツ大会４事業、ソフトバレーボールフェスティバルの代替事業として乗馬体験会、スポーツ教室５事業、三朝町文化・スポーツ交流を実施した。
今後の課題方向性	引き続き、各種スポーツ大会とスポーツ教室、三朝町文化・スポーツ交流を実施する。

② 関係団体との連携と支援

市民一人一人が日常生活の中にスポーツ・レクリエーションを取り込み定着できるよう、また、スポーツ活動を通じた地域交流が推進されるよう、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどの関係団体と連携するとともに、その活動を支援します。

【施策番号 34】関係団体との連携について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●スポーツ協会に補助金を交付するとともに、各種事業・会議に職員を派

	遣し、連携して地域のスポーツ振興に取り組んだ。
今後の課題 方向性	スポーツ協会の事業に職員を派遣するなど、各団体との連携を図る。

③ 指導者の育成

ニュースポーツをはじめとした各種スポーツの普及と定着を図るため、指導者の育成や確保に努めます。

【施策番号 35】指導者の育成・確保について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●各種地域事業への協力等地域のスポーツ振興に取り組んだ。
今後の課題 方向性	各種スポーツの普及と定着を図るため、指導者の育成や確保するための事業を行う。 スポーツ推進委員の各種研修会への参加 市内のスポーツ団体へ指導者育成の情報等を提供

④ 総合型地域スポーツクラブの支援

いつでも、だれでも、いつまでもスポーツができる環境づくりと、スポーツを通した地域コミュニティの活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブの支援をします。

【施策番号 36】総合型地域スポーツクラブについて	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	新規クラブ等は特に無し。
今後の課題 方向性	引き続き新規クラブ創設に向けた支援策を検討する。

（6） 読書活動の推進

① 図書館事業の充実

計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどの子どもライブラリー、文学・歴史講座などの成人ライブラリーなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

【施策番号 37】図書館について	
	図書館
取組状況	●図書資料の充実に努めた。（図書館 3,729 冊・コミセン図書室 2,143 冊） ●雑誌スポンサー制度を実施した。（６年度提供企業９社 提供雑誌冊数 26 タイトル） ●子ども・成人ライブラリーなどを開催した。（子ども向け 49 回：延べ 863 人参加・ 大人向け 12 回：延べ 419 人参加） ●としょかんまつりの事業として、子ども司書体験（４人）、としょかんビンゴ（161 人）を実施した。

	●読書ボランティア登録団体によるおはなし会を実施した。（大人向け９回：延べ 234 人参加・子ども向け１回：29 人参加） ●文化講演会を開催した。（161 人参加） ●図書・雑誌リサイクル事業を実施した。（２回・延べ 274 人参加） ●読書ボランティアネットワーク会議を開催した。（３回）
今後の課題 方向性	市民の読書活動を推進するため、予算削減に伴う所蔵計画の見直しを行い、図書館の蔵書 20 万冊を維持し、利用者のニーズに応じた図書の選定・長期間所蔵する図書の計画的な除籍を行っていく。 また、令和８年度より文化講演会が周年事業となるため、それに代わる各種事業を積極的に実施することで図書館利用者の増加を図るとともに、子どもの読書活動の推進につながる新たな事業にも取り組んでいく。

② コミセン図書事業の充実

計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

【施策番号 38】コミセン図書事業について	
	市民活動支援課
取組状況	●市民ニーズに応じた図書の選定を行った。 ●古くなった図書の更新を行った。 ●絵本の読み聞かせなどの事業を開催した。 ●80,598 人の利用があり、149,164 冊の貸出があった。
今後の課題 方向性	計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどを充実し、市民の読書活動を推進する。

③ 図書システムの充実

図書館利用者へのサービスを充実するため、インターネットを利用した蔵書検索・予約や京都府図書館総合目録ネットワークへの完全参加など、より市民に利用しやすいシステムの充実に努めます。

【施策番号 39】図書システムについて	
	図書館
取組状況	●システム環境を整備した。 ・京都府立図書館のインターネットサービスによる申込・借受冊数（214 冊） ●図書館情報システムを活用した。 ・インターネット予約登録者数（累計 6,307 人） ・インターネット予約冊数（23,687 冊） ●図書館ホームページによる各種ライブラリー、講座・講演会などの事業案内や新刊・おすすめ図書といった選定図書の紹介など積極的な情報の発信を行った。
今後の課題	図書館情報システムの更新によりさまざまな見直しを行い、利用者への利便

方向性	性の向上を図る。

④　子どもの読書活動の推進

城陽市子どもの読書活動推進計画に基づき、家庭や学校等、地域社会が連携して、子どもの読書活動を推進します。

【施策番号 40】子どもの読書活動について	
	学校教育課
取組状況	●城陽市子どもの読書活動推進計画について、学校の司書教諭との連絡会を中心に連携を図った。
今後の課題 方向性	城陽市子どもの読書活動推進計画について、学校の司書教諭との連絡会を中心に連携を図り、第三次城陽市子どもの読書活動推進計画の策定を行う。
【施策番号 40】子どもの読書活動について	
	図書館
取組状況	●おすすめブックリストの配付、読書ラリー、学校おはなしキャラバン等の継続的な実施や、学校での読み聞かせ等のボランティアに対する支援により子どもの読書活動の推進を図った。
今後の課題 方向性	子どもの読書活動の推進を図るため、おすすめブックリストの配付及び改訂のための準備をすすめ、読書ラリーや学校おはなしキャラバンの継続的な実施、読み聞かせ等のボランティアの支援に取り組んでいく。

⑤　高齢者・障がい者の読書環境の充実

高齢者や障がい者の読書活動を推進するため、大活字本や録音図書を充実するとともに、高齢者施設への本の貸出を検討します。

【施策番号 41】大活字本や録音図書の充実	
	図書館
取組状況	●視覚に障がいのある方への利用サービスを実施した。（録音図書貸出 94 点） ●聴覚・言語機能に障がいのある方への利用サービスを実施した。（ＦＡＸによる申込可能） ●障がい者向け利用案内を発信した。（図書館ホームページに障がい者向け利用案内を掲載・障がい者施設に利用案内を設置） ●「障害者差別解消法」に基づく障がい者へのサービスを提供した。（同法を遵守したサービスを提供） ●高齢者及び来館困難者の方への利用サービスを実施した。（ＦＡＸによる申込可能、拡大読書機の利用可能、大活字本の貸出 1,981 冊） ●大活字本図書を購入した。（成人書 42 冊） ※対面朗読は未実施
今後の課題 方向性	高齢者・障がい者の読書環境の充実を図るための事業として、引き続き様々なサービスを実施するとともに、誰もが利用しやすい図書館を目指していく。

3 学習成果を活かした地域づくりの推進

（1） 学びの場を核とした地域コミュニティの形成の推進

① コミュニティ事業の推進

地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりを目的に、コミュニティセンターにおいて、地域住民が主体となって実施する各種のコミュニティ事業を支援します。

【施策番号 42】コミュニティ事業について	
	市民活動支援課
取組状況	●地域住民で組織する各コミセン運営委員会への委託により、教室・講座などのコミュニティ事業を実施した。（健康講座、体操教室など） ●各コミセン運営委員会が地域団体と連携して実施する事業(コミセンまつり、夏まつり、秋まつり、春まつりなど）へ補助金を交付した。 ●６館で 1,064 件の事業を実施し、全体で 287,280 人の利用者があった。
今後の課題方向性	地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりを目的に、コミュニティセンターにおいて、地域住民が主体となって実施する各種のコミュニティ事業を支援していく。

② コミュニティ組織の育成・支援

主体的・自立的な地域社会を形成するため、コミュニティセンターや自治会などのコミュニティ組織の活動を支援します。

子どもの健全育成に向けて PTA や青少年関係団体、地域の関係者が参画、連携し、地域社会全体で子どもを育む環境づくりを推進するため、活動の支援を行います。

【施策番号 43】コミュニティ組織の育成・支援について	
	市民活動支援課
取組状況	●各自治会及び各自治会連合会に助成金を交付した。（123 自治会 6,403 千円、10 連合会 350 千円） ●自治会集会所等建設等補助金の交付による補助を行った。（延べ 101 自治会 6,253 千円）
今後の課題方向性	自治会加入率の低下が課題であるので、地域住民の連帯によるコミュニティ意識の高揚及び自治会活動支援のため、今後も継続して助成金の交付等による支援を行っていく。

③ コミュニティリーダーの育成・確保

地域社会における様々な活動の活性化を図るため、活動の中心となるリーダーの育成・確保に努めます。

【施策番号 44】コミュニティリーダーについて
文化・スポーツ推進課

取組状況	●サークルリーダー研修会を実施した。（1回 271 団体参加） 演題　「救急講習」（熱中症と心肺蘇生法） 講師　城陽市消防本部　消防署　救急課
今後の課題 方向性	参加率が未だ低い。不参加の団体に認定証を交付する際に、自覚研修を実施したが、趣旨を理解していない団体は例年より少なくなってきている。引き続き、地域における社会教育活動の中心となるリーダーの育成のため研修会及び自覚研修の内容の充実に努めていく。

（2）　ボランティア活動の推進

①　ボランティア活動の奨励

広報紙やインターネットなどでボランティア活動に関する情報提供を行うことにより、ボランティア活動に対する理解と関心を高めます。

また、社会教育施設などの公共施設において、ボランティア活動の場を提供するとともに、活動に必要な研修の実施に努めます。

【施策番号 45】ボランティア活動について	
	図書館
取組状況	●読書ボランティア団体の登録を行った。（16 団体） ●読書ボランティア団体によるライブラリーを開催した。（子ども向け 32 回・大人向け４回） ●読書ボランティア登録団体主催によるおはなし会を実施した。（子ども向け１回・大人向け９回） ●本の修理ボランティアによる図書館事業への参加（本修理８名）、本の整理ボランティアによる図書館事業への参加（整理 9 名、本修理と重複あり） ●本修理の活動環境の整備を行った。 ●読み聞かせ・本の修理ボランティアの支援を行った。 ●読書ボランティアネットワーク会議を開催した。（3回）
今後の課題 方向性	読書ボランティア団体及び図書館サポーター（本の修理・整理ボランティア）への支援及び育成を図り、図書館事業への参加を促すことで読書活動の推進を図る。
【施策番号 45】ボランティア活動について	
	歴史民俗資料館
取組状況	●勾玉作り教室と火起こし体験などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。（活動回数７回） ●友の会と共催で文化財講座、古文書講座及び研修見学会などを開催した。（開催回数７回）
今後の課題 方向性	引き続き、ボランティア活動の場として勾玉教室や共催事業を開催するなど、今後もボランティア活動の推奨を図る。
【施策番号 45】ボランティア活動について	

	高齢介護課
取組状況	●高齢者の社会参加や地域貢献の場を広げるとともに、健康増進と介護予防に役立つことから、サポーター登録者の募集を行い、ボランティア活動の場を提供した。（登録者数 24 人　受入機関数 36 箇所　活動実績　延べ 55 人）
今後の課題方向性	今後も高齢化率の上昇が見込まれていることから、高齢者の生きがいづくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。
【施策番号 45】ボランティア活動について	
	環境課
取組状況	●６月の環境月間において、市内一斉クリーン活動の呼びかけと実施をした。 ●年間通じて、クリーン倶楽部城陽への登録呼びかけと活動の支援を行なった。（登録 66 団体）
今後の課題方向性	「市内一斉クリーン活動」と「クリーン倶楽部城陽」の２つの制度について、提出書類等が少し異なることから混乱が生じること、また、手続きが煩雑であることから、参加団体等の負担となっている。
【施策番号 45】ボランティア活動について	
	商工観光課
取組状況	●にぎわいづくりの会への支援 補助金の交付（150 千円）、ボランティアを広く募集し、運営協力等を行った。 ●（一社）城陽市観光協会への支援 補助金の交付（5,000 千円）、TWINKLE JOYO 会場内の飾り付けを行うボランティアの募集等の支援を行った。
今後の課題方向性	「市内一斉クリーン活動」と「クリーン倶楽部城陽」の２つの制度について、提出書類等が少し異なることから混乱が生じること、また、手続きが煩雑であることから、参加団体等の負担となっている。

②　学習機会の充実

多様なボランティア活動への参加意識を高めるため、だれでも気軽に参加できる各種ボランティアの養成講座や体験講座の実施など、学習機会の充実に努めます。

【施策番号 46】ボランティアの学習機会について	
	市民活動支援課
取組状況	●市民活動支援センターSNS（LINE、Instagram、Facebook）及び登録団体紹介冊子を活用し、広報や情報提供に努めた。 ●市民活動相談を実施した。（212 件） ●人材育成等、市民活動支援、SNS に関する講座を開催した。（3回　延べ 37 人） ●「まちの木サロン」を開催した。（2回　延べ 19 人）

今後の課題 方向性	市民活動支援センターSNS(LINE、Instagram、Facebook)及び登録団体紹介冊子を活用し、広報や情報提供に努める。 市民活動相談や講座等を通じて、今後も継続して市民活動支援を行う。

③　ボランティア活動への支援

ボランティア活動に対するアドバイスやボランティア団体の交流、情報交換の場の提供など、市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進します。

【施策番号 47】市民活動支援センターについて	
	市民活動支援課
取組状況	●市民活動支援センターSNS（LINE、Instagram、Facebook）及び登録団体紹介冊子を活用し、広報や情報提供に努めた。 ●市民活動相談を実施した。（212 件） ●人材育成等、市民活動支援、SNS に関する講座を開催した。（3回　延べ 37 人） ●「まちの木サロン」を開催した。（2回　延べ 19 人）
今後の課題 方向性	市民活動支援センターSNS(LINE、Instagram、Facebook)及び登録団体紹介冊子を活用し、広報や情報提供に努める。 市民活動相談や講座等を通じて、今後も継続して市民活動支援を行う。

（3）　学習成果の活用

①　社会全体で子どもたちを育む取組みの推進

多様な生涯学習の成果を、放課後子ども教室や学校支援地域本部事業など学校支援に活かせるよう、学校と地域が連携・協働する体制づくりの推進に努めます。

【施策番号 48】学校と地域の連携・協働について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●学校支援地域本部事業 西城陽中学校（H22～）城陽中学校（H24～） 地域ボランティアによる、図書支援・学習支援・環境整備・部活動補助などの学校支援活動を行った。
今後の課題 方向性	城陽中学校、西城陽中学校ともに継続して参加いただけるボランティアの人材確保が課題である。事業は「できる人が」「できる時に」を目標に続けていく。

②　活動の場の充実

生涯学習の成果を表現する場として、文化芸術協会が中心となった市民文化祭などで、発表会や作品展示会などが開催されており、今後も、市民の生涯学習活動への意欲を高めることからも、学習成果を表現する場の充実に努めます。

【施策番号 49】生涯学習の成果を表現する場について
文化・スポーツ推進課

取組状況	●文化芸術協会へ補助金を交付した。 ●文化芸術協会主催イベントの後援を行った。 ●市民文化祭実行委員会へ参加協力した。
今後の課題 方向性	緊急財政対策により、予算減額となったが、事業内容、経費等を見直し活動は継続していく。

③　人材活用の仕組みづくり

市民の中から豊富な知識や技術を持つ方や、学習活動で学んだ優れた成果を持つ方を指導者として登録し、市民の自主的な学習の場で活動するシステムの整備を検討します。

【施策番号 50】人材活用について	
文化・スポーツ推進課	
取組状況	●人材活用に係る情報提供の整備「社会教育関係団体登録名簿」を各施設に設置した。（30 箇所）
今後の課題 方向性	情報提供後に、実際に活動につながったかどうかまでは把握しておらず、具体的な課題等はない。引き続き名簿を作成し情報提供に努める。

４　学習環境の整備

（１）　生涯学習施設の整備・充実

①　生涯学習施設の整備・充実

市民が自らの意志により、いつでも自由に学習ができるよう、多様な形態の学習活動が可能な生涯学習施設の整備・充実を図ります。

【施策番号 51】生涯学習施設の整備・充実について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●文化パルク城陽・公民館等の適正な維持管理を行った。 主な修繕等 ・水冷チラー（50 冷凍トン）更新事業（文化パルク城陽） ・非常用発電機バッテリー更新事業（文化パルク城陽）
今後の課題方向性	文化パルク城陽各施設については、開館から 30 年を経て経年劣化し、交換部品の確保が困難な物もある。また、利用者の安全確保や利用の支障となるものを優先し、順次更新が必要な状況にある。 公民館施設については、施設の長寿命化の観点から、今後も適切な維持管理を実施する。

②　スポーツ施設の整備・充実

市民が快適で安全にスポーツに親しめるよう、総合運動公園をはじめとした施設の充実に努めます。

【施策番号 52】スポーツ施設の整備・充実について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●各施設の適切な維持管理に務めた。 主な修繕工事 ・市民体育館大規模改修工事　（総合運動公園）
今後の課題方向性	利用者に安心・安全に利用いただけるような施設にするため、必要に応じて修繕を実施する。

③　学校施設の活用

小中学校のグラウンドや体育館は、地域における身近なスポーツ施設であり、引き続き活用を推進します。また空き教室の有効活用を学校と連携し推進します。

【施策番号 53】学校施設の活用について	
	学校教育課
取組状況	●小中学校のグラウンドや体育館を開放した。
今後の課題方向性	地域における身近なスポーツ施設として利用できるように小中学校のグラウンド・体育館を開放する。

（２）　関係機関との連携推進

①　生涯学習ネットワークの展開

コミュニティセンター、公民館、男女共同参画支援センターなど、生涯学習施設間の連携を強化して、新たな学習ニーズに対応した事業や情報提供などを効果的に実施します。

【施策番号 54】生涯学習ネットワークについて	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●情報誌・紙の発行、ホームページへの掲載を行った。 ●施設間の相互予約を行った。
今後の課題 方向性	今後もより見やすい紙面づくりに努めていく。

②　民間団体等との連携

生涯学習事業の企画立案、情報交換、講師派遣などにおいて、商工会議所、社会福祉協議会、カルチャーセンターやスポーツクラブ、NPO・ボランティア団体等と連携を強化して、生涯学習事業の充実に努めます。また、京都府や他市町村、大学などの高等教育機関の生涯学習に関する情報を収集し情報提供、学習プログラムの活用などを推進します。

【施策番号 55】民間団体等との連携について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●民間団体及び市民からの参画を得た城陽市民大学企画推進委員会を実施した。（３回）
今後の課題 方向性	企画推進委員に様々な意見をいただき、市民にとって有益な方向に向けていただいた。講座での司会や会場準備等ではその場に応じた臨機応変な対応をしていただき、講座がスムーズに進んだ。引き続き、企画推進委員の意見を聞きながら講座を進めていく。

③　学校教育と社会教育の連携・融合

学校、地域がそれぞれの教育機能を発揮して、学校教育における地域などの連携協力を促進するとともに、地域の社会教育活動に学校が協力するなど、学校と地域が一体となった学習活動の充実に努めます。

【施策番号 56】学校と地域が一体になった学習活動について	
	学校教育課
取組状況	●子どもの安全・安心な活動拠点の確保や地域交流活動等を行うため、学校と家庭、地域が連携した事業の充実を図り、子どもと地域とのふれあいや交流の場づくりに努めた。 ●学校・地域連携推進事業や特色ある学校教育推進事業など、地域の社会人講師や学習環境を活用して、様々な学習を行った。
今後の課題 方向性	学校･地域連携推進事業として、中学校ブロックごとに地域との連携事業を実施できた。 各学校で特色ある学習活動を実施できた。

（３）　情報提供の推進

①　情報紙の充実

生涯学習情報紙「まなび Eye」等の内容の充実に努め、多くの市民が興味の持てる情報紙をめざします。

【施策番号 57】生涯学習情報紙について	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●広報じょうよう特集号まなび Eye を発行（年１回）し、全戸配布した。
今後の課題 方向性	引き続き、より見やすい紙面づくりに努めていく。

②　ホームページの充実

現在､本市教育委員会のホームページにおいて､生涯学習情報や市の教育に関する情報、本市ホームページにおいても生涯学習情報の提供を行っていますが、内容を充実し、常に最新の情報が提供できるように努めます。

【施策番号 58】ホームページについて	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●城陽市 HP、市教委 HP へ掲載した。 まなび Eye、城陽市民大学、施設概要、施設予約方法等
今後の課題 方向性	ホームページを利用して様々な情報を対象者に知らせることができた｡今後も常に最新情報が提供できるよう努めていく。

③　情報提供システムの構築

生涯学習事業への参加申し込みなどをインターネットで行えるなど学習参加しやすいシステム環境の整備に努めます。

また、市民活動情報サイトを活用し、NPO・ボランティア団体などの活動情報の提供に努めます。

障がいのある人に配慮した情報提供の仕組みを検討します。

【施策番号 59】情報提供システムについて	
	文化・スポーツ推進課
取組状況	●市民大学の申込について、はがき・FAX・QR コードから申込みができるフォームで受付を行った。フォームでの申込は 259 件であった。
今後の課題 方向性	令和８年度では、まなび Eye の発行が停止するため、広報じょうようを活用した周知に努める。